



最初にお読みください


AT-TQ4600/4400/3400/3200 リリースノート

この度は、AT-TQ4600/4400/3400/3200 をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。このリリースノートは、マニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。最初はこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 3.0.2

2 重要：注意事項

2.1 無線コントローラー管理下の WDS 接続


 [「リファレンスマニュアル」](#) / [「詳細設定」](#) / [「Managed AP」](#)

「詳細設定」 / 「Managed AP」の WDS 運用モードを「サテライト AP」に設定しないでください。WDS 接続を介して無線コントローラー（AT-UWC）と通信を行う「サテライト AP」モードは未サポートです。

3 本バージョンでの制限事項


ファームウェアバージョン **3.0.2** には、以下の制限事項があります。

3.1 VAP

 [「リファレンスマニュアル」](#) / [「詳細設定」](#) / [「VAP」](#)

ダイナミック VLAN（WPA エンタープライズ）環境で、無線クライアントの検疫を実行するように RADIUS サーバーが設定されている場合、無線クライアントに VLAN 間ローミングが発生すると、無線クライアントの認証に失敗することがあります。

3.2 WDS 多段接続

 [「リファレンスマニュアル」](#) / [「詳細設定」](#) / [「WDS」](#)

多段で WDS 構成をする場合は、3 台程度での構成を推奨します。

AP -- (WDS) -- AP -- (WDS) -- AP

注意：


AP を何段も経由するとスループットが低下するため、導入の際は実環境にて事前調査を行うことを推奨します。

3.3 MAC フィルタリング

 [「リファレンスマニュアル」](#) / [「詳細設定」](#) / [「MAC フィルタリング」](#)


MAC フィルタリング機能の「リスト上の全てのステーションをブロックする」フィルターと WDS の併用はできません。併用すると WDS のリンクが切断されてしまいます。WDS と MAC フィルタリングを併用する場合は、「リスト上のステーションのみを許可する」を選択し、無線クライアントのリストに対向 AP の MAC アドレスを追加してください。

3.4 クラスター

 **参照** 「リファレンスマニュアル」 / 「クラスター」 / 「アクセスポイント」


クラスター機能において、ひとつのクラスターに所属可能なアクセスポイント数を超える台数（17 台以上）を追加すると、画面上では 17 台目以降の情報は表示されませんが、アクセスポイントにはクラスターの設定が共有されたり誤動作を起こすことがあります。

3.5 送信 / 受信

 **参照** 「リファレンスマニュアル」 / 「ステータス」 / 「送信 / 受信」

起動の際に、VAP インターフェースの送信カウンターがカウントアップしますが、表示のみで実際にはパケットを送信していません。

3.6 SNMP

 **参照** 「リファレンスマニュアル」 / 「オプション設定」 / 「SNMP」

SNMP の設定において、「SNMP SET リクエストの許可」は未サポートです。

4 リファレンスマニュアルについて

最新のリファレンスマニュアル（613-001965 Rev.B）は弊社ホームページに掲載されています。本リリースノートは、上記のリファレンスマニュアルに対応した内容になっていますので、お手持ちのリファレンスマニュアルが上記のものでない場合は、弊社ホームページで最新の情報をご覧ください。

<http://www.allied-teleasis.co.jp/>